

情報交差点・心と心の交わり

## あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029

楽しい朝の時間♪ラジオ体操を通して交流

津波っ子、就労センターメンバー合同ラジオ体操



夏休み、今年も7月22日から津波恒例の朝のラジオ体操が始まりました。

児童数の関係で場所が渡海団地に変更となった今年のラジオ体操には、津波の就労センターの協力を得て、センターに入所している方々も参加。また宮古、糸満から来ていた前田鐵憲さん孫たちの参加し31名の大所帯で賑やかな朝の時間となりました。体操終了後には友だち同士で夏休みの宿題の確認をしたり、団地周辺のゴミ拾いをしたり有意義な時間を過ごしました。

伊禮健校長先生や宮城裕司教頭先生も朝の時刻に合わせてきてくれることもあり、校長先生は「子ども達が保護者や地域、そして就労センターの方々と一緒にラジオ体操をしている様子に感動を覚えました。あらためて子ども達が地域で見守られ、育てられていることを感じ感謝で一杯です。」と思いを話してくれました。

26日の最終日には吉田春子先生から手作りの参加賞と記念品が一人一人に渡され、毎朝、定刻と共に集まり始まったラジオ体操は、天気にも恵まれ1日も休むことなく、無事に終了することができました。参加した子ども達からは「7月から8月まで、みんなで出来てすごいと思った」、「後半はほとんどの人が参加できてよかった」などの感想があがりました。

今年は大人数のため、子ども達のやる気もいつも以上に見られました。5年間続けているこのラジオ体操。健康維持、体力増進、人との交流のためにも来年以降も続けていって欲しいと思いました。

### 西会津っ子を迎えて過ごす貴重なひととき… 体験の翼西会津交流団大宜味訪問

7月24日～26日、今年も福島県西会津町から体験の翼交流団（児童生徒15名、引率5名）が大宜味村にやってきました。

歓迎式では自分の家にホームステイする子はどんな子か？ドキドキの大宜味団員たちでしたが、シークワサーシャーベットのパイナップル、マンゴーなどの沖縄のフルーツを教えてあげながら一緒に食べ、早くも打ち解けている様子が見られました。

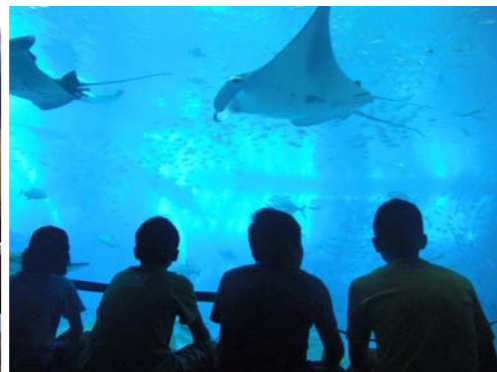


いよいよ対面。まだまだ緊張…

#### ホームステイでの様子



沖縄の味も教えてあげました



迫力満点のエイサーを見学♪



たくさん思い出できました!!



まだ、別れたくない…



最後はみんなでカチャーシー♪



一緒に福島まで連れてって～!!

美ら海水族館に行ったり、バーベキューをしたり、エイサーを見たり2泊3日の短い期間でたくさんの思い出を作った子ども達。また福島で元気に会うことを楽しみに帰るバスに向かって手を振りました。来年の2月には大宜味村から西会津に交流に向かいます。気候も風土も違う東北を存分に味わってきてほしいと思います。

### 大宜味っ子の活躍光る★ 小学4年生女子 200m、男子ボール投で優勝！ 新報児童オリンピック

小4男子ボール投げ 1位

小4女子200m走 1位

小1女子100m走 3位



喜如嘉小4年 花田悠馬君



大宜味小4年 外園華音さん



喜如嘉小1年 福地美楽惟さん

7月27日（土）、28日（日）、沖縄県総合運動公園陸上競技場において第33回新報児童オリンピック陸上競技が行われ、今年村内から13名の選手が参加しました。

うだるような暑さの中、子どもたちは日頃の練習の成果を発揮。

今大会では小学4年生女子200mで外園華音さん（大小）、小学4年生男子ボール投で花田悠馬君（喜小）が見事1位に輝きました。また、今大会初出場の福地美楽惟さん（喜小）が小学1年生女子100mで3位に入賞。今後の活躍に期待したい限りです。8位までの入賞者は以下の通り。

みなさん、おめでとうございます。

- 1年女子100m 3位 福地美楽惟（喜小）
- 3年女子100m 5位 宮城梨琉（塩小）
- 4年女子200m 1位 外園華音（大小）

#### 入賞者

- 4年男子ボール投 1位 花田悠馬（喜小）
- 6年女子ヴァレーボール投 7位 大嶺莉央（塩小）

- 4年男子4×100mR 5位 喜如嘉クラブ 福地想楽 平良悠翔 山口栄智 花田悠馬
- 6年女子4×100mR 4位 スタディオン 大嶺莉央（塩小） 仲尾鈴音 又吉静奈 江田優季



### 一人一人の努力とみんなの協力の結晶!! 大中ソフトテニス部九州大会出場

7月30日（火）、大宜味中学校ソフトテニス部が村長室に表敬訪問にやってきました。九州大会を目前に控えた選手たちは「ここまで来られたのも地域の人の応援のおかげ。応援に応えられるよう1試合1試合頑張りたい。」と意気込み、8月8日～10日、女子8名が九州大会に挑みました。残念ながら結果は1回戦敗退となりましたが、選手一人一人が自分たちの持てる力をすべて発揮しました。

この後、行われた第30回新報杯北部地区中学校ソフトテニス大会では団体の部で男子、女子ともに優勝!! 個人の部では女子の稲福珠音・福地楽ペアが優勝、山城萌恵・青木涼世ペアが3位、男子の仲原広大・稲福蓮音ペアが準優勝。女子1年生の部で平良日和理・真喜志康代ペアが3位に入賞する好成績をおさめました

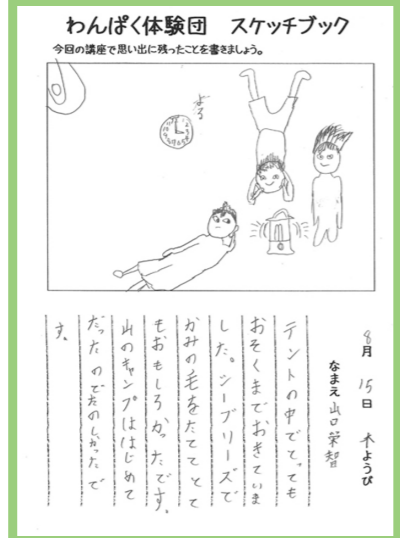
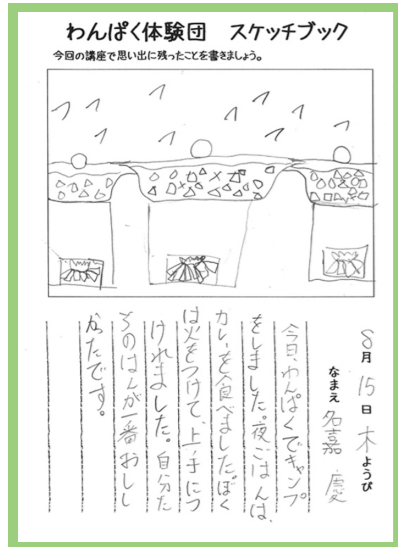


### 真のう～まく～は誰だ!?

午後からは謝名城の山でのキャンプ。電気もガスもない森の中。何不自由なく暮らしている現代っ子たちはどこまでしてくれるのか?不安でもあり、楽しみでもありました。

今回のキャンプではカレーライス大会を実施。A班とB班に分かれ、味やご飯の炊き加減、調理中の手際の良さ、火のおこし方などからみて、どちらのカレーライスが良かったのかを競いました。

どちらのカレーライスも美味しく(最近のカレーが上等なおかげ!?)、甲乙つけがたいものでしたが(大人の感覚では…)、みんなの評価によりB班がカレーライス大会を制しました。



カレーライス大会の後、夜の生きもの探し、肝だめし。意外とビビリ屋のわんぱくたちは電灯のありがたさを十分気付かされたことでしょう…。フフフ。

遅くまでみんなと過ごせる楽しさとちょっぴりの不安の中、この日の夜は過ぎていきました。翌日はキャンプでかいた汗を流しに田嘉里川へ。いつものように次から次へと飛び込んでいくわんぱくたちを見て、大宜味の子たちはやっぱりすごいなあと思つづく感じました。

### 平成25年度わんぱく体験団 第3弾「班対抗 う～まく～決定戦!! & やんばるの森でカレイなキャンプ♪

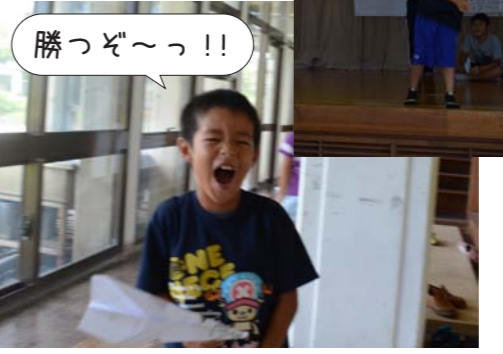
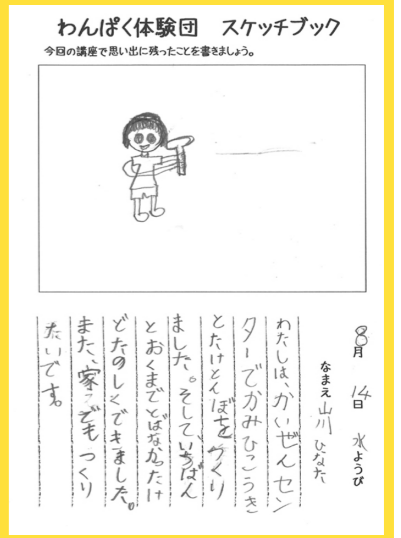
8月14日(水)、改善センターにてわんぱく体験団第3弾「班対抗 う～まく～決定戦!!」、14日午後～15日には大國林道沿い(謝名城)において「やんばるの森でカレイなキャンプ♪」を実施しました。

今年が団員数が多いためキャンプは4年生以上を対象に、午前中は全学年対象に紙トンボづくりとわんぱくNo.1を決める紙飛行機大会が開かれました。



紙の種類や折り方、飛ばし方、工夫するところはたくさんあります。団員それぞれが一番飛ぶ紙飛行機を作り、いざ決戦へ。

班内での予選を勝ち上がり、班の代表者で行った決定戦では、シーサーチームの宮城敏伍くんが距離14m、滞空時間2秒31の好記録を出し、見事優勝に輝きました。



◆◆8月より教育委員会に強靱強力な新メンバーが加わりました◆◆



学校教育係 島袋隆也  
出身：津波 趣味：映画鑑賞

今回、建設環境課より出向してきました。  
村内の子ども達が笑顔で、楽しく学校生活が送れるよう教育委員会のメンバーと協力しながら頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

体力、気力、見た目!?!ともに教育委員会の大きな尽力となるメンバーの加入です。  
新メンバーと共に今度もますます大宜味村の教育に力を入れていきたいと思っております。

☺子どもの成長に関する大人の思い込み  
「子どもが反抗するのは（わがまま）（自己中心）になった」  
子どもが反抗するのは、「自立」のサインです。  
「反抗」をするという事は一生懸命子育てをしてこられた結果、順調に育っているということですので、心配はありません。  
大人から見えて困ったことでも、反抗には何らかの意味があります。それを大人の都合で叱ったり、止めたりすることは自発性を損なうということにもなります。大人の都合で過剰に押さえつけたり、我慢させるのではなく、自立に向かって成長している姿を受け止めて、しっかりと子どもと向き合ってください。

教育相談員 前田悠嗣

教育相談室だより

◎親から子へ伝えてほしい子どもの思い込み

・「大人になると【強く】なる」

大人になる事はもちろん体力的には強くなります。しかし、心はというとどうも簡単には強くなるみたくありません。子どもは「大人は強いから」と思い込み、大人に向かって「キモい」「ウザい」「○○」等、無意識に使う子どももいます。大人でもそんな言葉を言われると心は傷つきますね。大人になっても決して心は強靱（きょうじん）になるわけではありません。ただ、傷ついていないフリをして鈍感になろうとしているだけです。お友達に対して、大人に対して、誰に対しても「言葉」は大切に！



9月の開室日  
10日（火）  
12日（木）  
17日（火）  
19日（木）  
24日（火）  
26日（木）

先月号で紹介した池原先生の教育委員だよりの続きです。これまで池原青年の青春時代を紹介していましたが、やっとみえてきた花づくりが好きになるまで完結編です。

教育委員だより 「花づくりが好きになるまで（5：教員生活）」

池原弘昭



昭和46年4月名護市の名護中学校で臨時教員として採用された。初めての給料は約89ドル程度あったように記憶している。毎日5時ごろ起床し、朝食を食べ、自転車で浜まで行き、辺土名発5時45分のバスに乗るのである。当時の道路は、アスファルト舗装は極一部でほとんどが砂利道であった。7時前後には、市内のバスターミナルに着き、そこからは徒歩5分ほどで名護中学校に着いた。それゆえ、出勤は常に2、3番で、宿直の先輩教師から校内の朝の見回りをしてくれるように指示されたこともたびたびあった。帰宅は8時45分発の最終便で自宅に着くのは10時ごろであった。それから3時間ほどの教材研究をして、睡眠時間は多くて3～4時間であった。幸いなことに通勤時のバスの中で仮眠することができたのはよかった。このような生活が1年続いた。

復帰の年、昭和47年4月伊平屋中学校の教諭として採用された。ここで人生のよきパートナーとなる人との出会いについてふれよう。彼女と私は伊平屋中学での採用が同じ年であった。大学を卒業したばかりであるが、先輩教師の無理難題（ほとんどがからかいのたぐいだ）にも動ぜず、笑顔で応答する姿は微笑ましくもあり、とても感じがよかった。なかなかよい性格をしていると思いつつも静かに3年間見守っていた。



生徒や保護者、地域の青年達との交流、付き合い方も心得ていて、しだいに好意をいただくようになった。転勤対象の3年目になったので、機会あるごとに島で5年は勤務しようと同僚に呼び掛けた。二人だけで話をする機会があったので、自分はあと2年間島に残るが、貴方もあと2年共に頑張ってみないかとアドバイスした。実はこれは好意を示す第1段階であった。しばらくして、結婚してほしいと告白したが良い返事はすぐにはもらえなかった。それから3ヵ月たつていよいよ転勤する、しないを決めなければいけない時期になり、再度結婚してほしいとプロポーズした。数日後に了解の返事があり、校長先生に報告して島に残ることにした。人事異動の内示がでるまでは婚約のことは伏せることにしたので、婚約を発表するまで二人が付き合っていることさえ誰にも知られることはなかった。二人とも島には5年勤める予定であったが、人事の都合で4年の勤務で国頭中学校へ転勤することになった。

それ以後、教諭として北国中学校、名護中学校、大宮中学校と勤務した。各学校で多くの思い出はあるが特に、国頭中学校で3年特殊学級（特別支援学級）を担当したことが花づくりの楽しさを再確認する機会ともなった。当時、花づくりの大好きな仲村仁兵先生から多くの指導を受けながら学級の生徒の花づくりの指導をしたことが、改めて私は花づくりや農業が好きなんだということがわかったような気がした。その後は校務分掌で一番なりたかった環境整備就任を任せられることはなかった。しかし、常に環境整備主任のよき支援者として花づくりを手伝わせていただいた。国中から北国中の数年間は、花づくりの知識を深めるため、休みの日には県内の主な花卉園芸の生産地を見学したりして色々勉強したものである。

その後の教員生活は、教頭として佐手中学校、校長として安田小中学校、大宮中学校、津波小学校、指導主事、主任指導主事として2度国頭教育事務所に勤めた。村教育委員会の平良宏教育長には、教職生活の締め括りの時期に津波小学校の校長として指名していただき大変感謝している。津波小学校校区の皆様はじめ、村民の方々との関わりも少なからず築くことができたのではないと思う。平成19年に退職して6年、現在は好きな花づくりを生きがいに、本格的な園芸農家を目指して日々努力しているところだ。（おわり）





ドゥーチユイムニー（独り言）

友寄景善

大宜味村夏まつりの余韻がまだ残る八月一六日（金）、一心福祉会の納涼祭が一心療護園の中庭であり、施設利用者の皆さんや関係者と触れあいながら、楽しいひと時を過ごさせてもらった。

午後七時の開会に間に合わせて会場に着いたが、すでに大勢の人々で賑わいを見せていた。受付において、片面にプログラムが印刷されたうちわを頂き、一番前の席に案内され、三村の村長と一緒にテーブルに着いた。少し、場違いではないかとも思ったが、目の前で繰り広げられる、踊り、コンサート、エイサー等を楽しんだ。屋上から断続的に打ち上げられた花火も好評であった。

月夜の中、きれいに管理された芝生の会場を涼しい東よりの風が吹き抜け、すがすがしい気分であった。文字通りの納涼祭であった。職員は、それぞれの役割を手際よく、きびきびと対応し運営もスムーズであった。来客へのサービスも行き届き、心配り、気配りが嬉しかった。

ただ、当地での納涼祭は今回が最後とのことであった。建物の老朽化と、東日本大震災の教訓を活かし、安全な場所に移転することのことである。すでに用地造成が完了し、準備が着々と進んでいるようだ。

一心療護園の開園に到る思い出がある。三〇数年前、当時の根路銘安昌村長が、大宜味村に福祉施設を誘致するため汗を流されていた。私はその時、村役場厚生課で福祉を担当していたこともあり、村長に随行して各界の思しき方々を訪問させてもらった。喜如嘉出身の金城社長や前田医師、そして県庁や福祉関係に従事されている村出身者にもお会いした。夜の会合も那覇市内で幾度か開かれた。私の役割はもっぱら村長専用車の運転手であったが、村役場の新米職員として貴重な体験をさせてもらった。

曲折を経て社会福祉法人『一心福祉会』が設立され、一心療護園の建設が進められることとなった。

今月の生きもの

シリケンイモリ：イモリ科



ど〜も。みなさんお馴染みのシリケンイモリです。家の近くから山間部まで広い範囲に住んでいること、日中でも水たまりなどで活動していることから、みなさんの目に触れることも多いんだはず。尾の先端が尖り、剣のように見えることが名前の由来とも言われています。こんな可愛いけどですが、体に毒を持っているので、あまり触らないようにして。もし、触ってしまったら必ず手を洗ってね。

～編集後記～

楽しい夏休みもとうとう終わってしまいました…。みんな夏の思い出はたくさん作れたかな？ まだまだ、あつ〜い日が続きますが、秋も行事は盛りだくさん。みなさん、張り切って行きましょう〜!! エイエイオ〜ッ(^o^)/ っつて、古いですね…。

「大宜味村育英会へ」

平良 絹様 金一封

米寿記念として

平成 25 年 8 月 15 日 寄付

🍷 9月の行事予定 🍷

2日（月）区長会

4日（水）県広域地震・津波避難訓練

8日（日）久志駅伝大会（大宜味中）

9日（月）振替休日（大中）

10日（火）授業参観（大小）

12日（木）授業参観（塩小）

14日（土）大中出校日

15日（日）大宜味中学校運動会

16日（月）敬老の日



17日（火）振替休日（大中）

19日（木）村P連運営委員会②

20日（金）秋の交通安全推進村民大会

21日（土）喜如嘉保育所運動会

22日（日）村陸上競技大会

23日（月）秋分の日

28日（土）出校日（4小学校）

29日（日）4小学校運動会

30日（月）振替休日（4小・中）